



たかしろ社協だより 58号



令和7年7月 高城地区社会福祉協議会
事務所：電話 28-0950（高城コミュニティセンター内）



みんなで支え合って 安心して暮らせる **福祉の郷 たかしろ**

I. 令和7年度高城地区社会福祉協議会の事業決定

令和6年度事業報告・収支決算、令和7年度事業計画(案)・収支計画(案)を3月27日(木)開催の理事会で決定、4月30日(水)開催の高城コミュニティセンター運営委員会総会において事業内容を承認されました。

今年度も皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いします。



1. 事業方針

過疎化と高齢化が進む中、高齢者の孤立や孤独死・フレイルによる体力の衰え・認知症への不安と様々な高齢者の悩みが指摘されています。高城地区においても、高齢化率が46%と高く同様な事が考えられます。

今年度は、高齢者の孤立の防止に向けて、昨年立ち上げた地区サロン「すまいる高城サロン」の取組に力を入れていきたいと思ひます。また、サロンが高齢者の気軽に困り事の相談できる場所となり、生活支援に貢献していきたいと思ひます。

人と人とがつながり、みんなで支え合い、みんなで楽しめる「安心して暮らせる福祉の郷たかしろ」を目指して頑張ります。

2. 事業計画

(1) 地域福祉活動

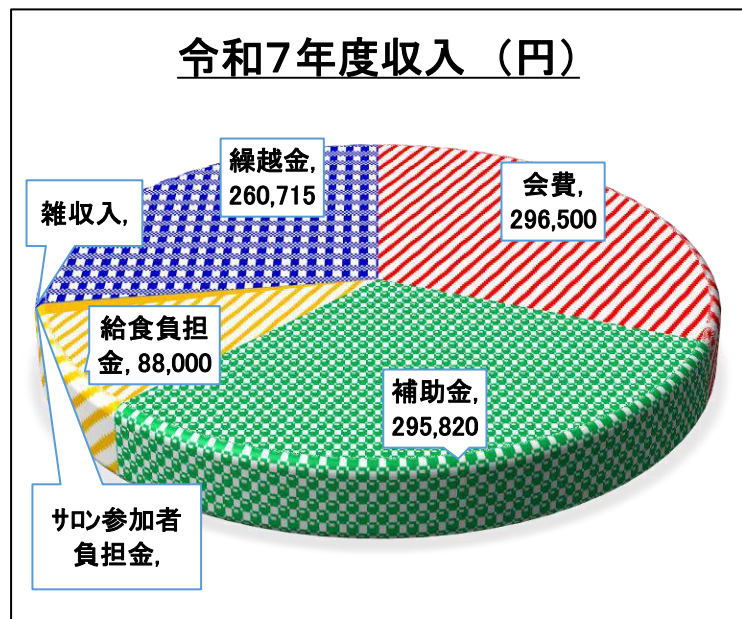
- (ア) 見守り・発見・つなぎ：支え愛マップづくり活動支援、福祉協力員連絡会の開催
- (イ) ふれあい・交流：移動型ふれあいサロン 毎週木曜日実施、「すまいる高城サロン」を4回開催
- (ウ) 話し合い・協議：集落福祉懇談会、高城地区福祉懇談会
- (エ) 学び・気づき：「たかしろ社協だより」の発行、各種研修会・講演会の開催

(2) 高齢者福祉活動

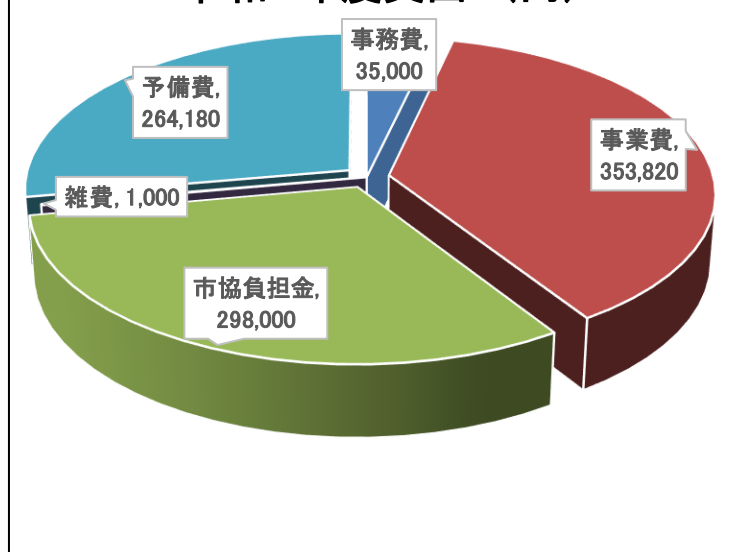
- (ア) ふれあい給食サービス活動：月2回、予定食数11食/回
- (イ) 給食ボランティア研修会の開催
- (ウ) 歳末助け合い活動：餅つき交流会12月、正月給食サービス12月～1月の4回

3. 収支予算 952,000 円

令和7年度収入（円）



令和7年度支出（円）



4. 役員紹介

役員区分	役 職	氏 名	備 考
理 事	会 長	笠 見 満 隆	有識者
	副 会 長	阪 本 常 義	有識者
		河 野 正 人	高城コミュニティセンター館長
		藤 原 治	自治公民館協議会
	事務局長	伊 藤 豊 昭	有識者
	会 計	増 尾 孝 子	有識者
		尾 崎 潤 二	自治公民館協議会
		尾 上 清 公	青少年健全育成協議会
		市 田 孝 憲	民生児童委員協議会
		西 尾 澄 恵	福祉協力員連絡会
		池 田 涼 子	給食ボランティア
		山 部 秀 樹	有識者
		平 岩 三 男	有識者
		門 脇 静 香	有識者
		矢 野 信 子	有識者



II. 令和7年度 高城地区福祉を考える集い

4月5日(土)19時～20時40分 高城ふれあいセンターで、35名の参加者(福祉協力員、自治公民館館長、民生児童委員、地区社協関係者)を得て、「高城地区の高齢者福祉」について学習をしました。

1. 高齢者に関わる地区の見守り活動について 高城地区社会福祉協議会 事務局

(ア) 高城地区人口構成、高齢者人口構成比、見守り承諾者数も紹介

- 高城地区の人口は、平成23年対比590人減少し高齢者人口推移は横ばいの770人前後、高齢化率は46.3%

- 令和6年9月末、高城地区の一人暮らし69人、高齢者世帯42世帯。緊急時には、これらの方々の支援体制を高城地区・各自治公民館での確立が求められます。

(イ) 此れまでの、福祉懇談会論議内容の紹介と提言への対応状況を紹介

(ウ) 高城地区社協の高齢者ふれあい事業紹介

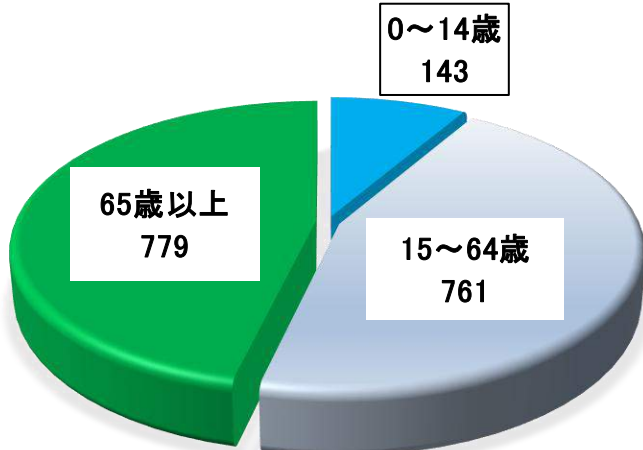
(エ) 見守り・安否確認(民間サービスも含む)の紹介

- 見守りは、隣近所をはじめ地域全体で「気に掛ける」ことが重要です。

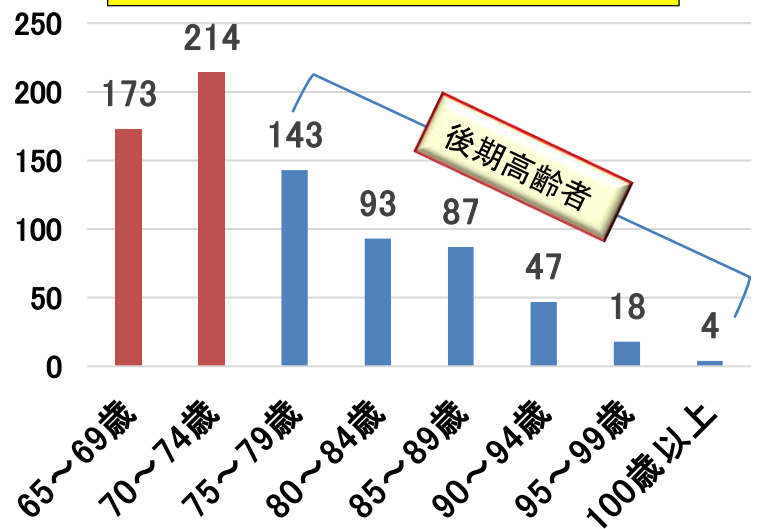
(オ) 見守りって！何をすればいい！事例紹介



令和7年2月末高城人口 1,683 人の構成比



令和7年2月末高齢者 779人の構成比



2. 福祉協力員の制度、手続きなどについて 倉吉市社会福祉協議会 森本さん

(ア) 福祉協力員活動とは！「だれもが住み慣れた地域で安心して暮らすために」

- ◆ 見守りが必要な人に対して『声かけによる安否確認』などをおこない、地域で孤立する人がいないように支え合う地域を作る一役を担う活動。

(イ) 福祉協力員の活動内容！ おたがいさまの見守り

日頃の声かけによる安否確認

対象者の生活の様子を気にかける

連携・相談

館長・児童民生委員などに相談



学習の様子



3. 参加者の感想 ※20人の方から貴重なご意見を頂きました！

- (ア) 今日の話聞いて、福祉協力員のことがよくわかりました。福祉協力員アンケートにあったようなことが実態ではないでしょうか。地域で気になる事が集落の関係者と情報共有できる様になればいいなと思います。
- (イ) 一人暮らしの高齢者の「見守り活動」は、年々増加すると思います。福祉協力員の活動は大切な活動だと思います。なじめない方もおられるのでそれは無理に行わないこと、隣人から様子を確認することなども大切な事だと思います。
- (ウ) 各自治公館長は、高齢者福祉に関わる学習会へ参加して、集落の高齢者情報を関係者と共有して困っている方への声かけ等を期待したい。

III. 令和7年度 第1回「すまいる高城サロン」開催

6月20日(金)10時～12時 高城コミュニティセンターで、松江市より「笑いヨガ」のインストラクター 森ミノルさんをお招きして、一般参加者17人、地区社協関係者、看護大学生、市社協、地域包括、長寿社会課、地域づくり支援課の皆さんを含めて32人の参加者得て「笑いヨガ」を体感しました。また、今回は「会食交流会」を兼ねており、給食ボランティア12人の方に調理して頂いたお弁当を食べながら、「笑いヨガ」について花を咲かせました。給食ボランティアの皆さま、ご協力ありがとうございました。



1. 「笑う門には“健康”きたる」

- 健康寿命を延ばす！「笑いヨガ(ラフターヨガ)」！運動して笑うだけでいつの間にか楽しい気分になります。“感情”と“運動”は密接につながっていて笑うという“運動”によって楽しいという“感情”が引き起こされ、深く呼吸をし、酸素を十分取り込むので、身体も生き生きと元になります。



皆さん！1分間笑いましょう！



手を繋いで！声を出して！



笑って！笑って！また、笑って！

